(54) SLIDER IN HEAD UNIT

(11) 4-40681 (A) (43) 12.2.1992 (19) JP

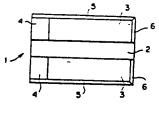
(21) Appl. No. 2-146120 (22) 6.6.1990

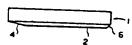
(71) CANON INC (72) HIROYUKI HAGIWARA

(51) Int. Cl⁵. G11B21 21.G11B11 10

PURPOSE: To obtain stable floating characteristics prevented from being damaged by forming tapered faces or roundness on the edges of the sliding faces of a slider body which are opposed to a recording medium of a slider body.

CONSTITUTION: The slider body 1 is provided with a groove slit 2 extended in an air flowing direction on a face opposed to the recording medium and positioned on its center, the sliding faces 3. 3 positioned on both sides of the groove stripe 2 and the tapered faces 4 formed on its leading end. Tapers 5. 6 ≥ 100 µm are formed between the both the sides of the body 1 and sliding faces 3, 3 and between the sliding faces 3, 3 and the rear end of the body 1 to continue respective faces. Thereby, even if the slider body 1 touches the surface of the recording medium, a stable floating state can be secured without damaging the surface of the medium and disturbing an air flow.





61804

⑩日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

@ 公 開 特 許 公 報 (A) 平4-40681

Solnt. Cl. 5

識別記号 庁内整理番号

❸公開 平成4年(1992)2月12日

G 11 B 21/21

1 0 1 P 9197-5D Z 9075-5D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

60発明の名称

勿出 願 人

ヘッドユニットにおけるスライダー

キャノン株式会社

②特 願 平2-146120 ②出 願 平2(1990)6月6日

@発明者 萩原 裕之

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

四代 理 人 弁理士 山下 寝平

明細・哲

1. 発明の名称

ヘッドユニットにおけるスライダー

2. 特許請求の範囲

デイズク状情報記録媒体に対向して磁気ペッドを備えたスライダー本体を配設し、上記記録媒体の回転で表面に発生する空気流により上記えライダー本体を浮上させるようにしたペッドユニットにおけるスライダーであって、上記スライダーを体の空気流出側エッジおよび空気の流れ方向に沿っている両側辺のエッジには100ミクロン以上のテーパあるいは丸味を形成していることを特徴とするペッドユニットにおけるスライダー。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はディスク状の情報記録媒体に対向して低気ヘッドを備えたスライダー本体を配設し、記録媒体の回転で発生した空気流によって上記スライダー本体を浮上させるようにしたヘッドユニットにおけるスライダーに関する。

(従来の技術)

光磁気式情報記録再生装置ではディスク状情報記録再生装置ではディスク状情報記録媒体に変調磁界を与えるための磁気ペッドを解えた空気浮上式スライダーを用いている。これは通常、第6四ないし第8関に示すように、空気の流れ方向に沿ってスライダー本体101の表面両側にスライド面102、前端にテーパ面103を形成している。そして、中央に形成された構築104を介して空気を流通できるようにしている。

このため、上記記録媒体が回転するとき、空 気流に方向性が与えられ、十分な裡揚力が与えら れる。

(発明が解決しようとする課題)

しかし、上記スライダーはスライド面とスライダー本体の両側との間に段差を有しており、このエッジ部分で空気の乱れを生じ、浮上状態の安定性が欠けるおそれがある。

また、上記エッジ部分が上記記録媒体の表面 に触れると上記記録媒体あるいは上記スライダー

特開平4-40681(2)

本体を損傷するおそれがある。

(発明の目的)

本発明は上記事情に基いてなされたもので、 上述のようなエッジ部分を除き、たとえスライダー本体が記録媒体の表面に触れたとしても損傷されるのを防止し、また、空気による浮揚を安定させるようにしたヘッドユニットにおけるスライダーを提供しようとするものである。

(課題を解決するための手段)

このため、本発明ではデイスク状情報記録媒体に対向して低気ヘッドを備えたスライダー本体を配設し、上記記録媒体の回転で表面に発生するで気流で上記スライダー本体を浮上させるようにしたヘッドユニットにおけるスライダーであって、上記スライダー本体の空気流出側エッジおには、上記スライダー本体の空気流出側エッジにはなっている。

(作用)

従って、たとえスライダー本体が上記記録媒

り付けられている。そして、デイスク状の記録媒体 9 に対向して上記スライダーを配置すると、上記記録媒体 9 の回転でその表面に発生する空気流により、上記スライダーは上記記録媒体 9 上に浮上される。

この場合、スライド面3、3とスライド本体の画側辺および後端との間にはテーパ面5、5および6が形成されているので、スライド面3のエッジで乱流を生じることがなく、スライダーの安定した浮揚が確保される。また、たとえ上記スライダーが上記記録媒体9の表面に接触しても、それぞれ掛傷を受けることがない。

なお、この実施例でテーパ面5あるいは6を 100ミクロン以上に設定したのはその範囲で空 気の流れに対する整流効果が得られることを確認 できたからである。

第4以に示す実施例では上記テーパ面5、6に代って丸味10を形成している。この時の半径は100ミクロン以上が有効である。

(発明の効果)

体の表面に触れても、これを損傷することなく、 また、空気の流れを乱すことなく、安定した浮揚 状態を確保できる。

(実施例)

以下、本免明の実施例を図面を参照して具体的に説明する。図において符号1はスライダー本体であり、デイスク状記録媒体に対向して磁気へッド(図示せず)を備えている。上記スライダー本体1は上記記録媒体に対向する面に空気の流れ方向に延びる演条2をその中央に備えている。

また、上記スライダー本体1はその溝条2の 両側に位置してスライド面3、3を備えており、 その前端にはテーパ面4を備えている。そして、 上記スライダー本体1の両側辺と上記スライド面 3、3との間および上記スライド本体1の後端と の間にはそれぞれ100ミクロン以上のテーパ5 、5および6が形成されていて、それぞれの面を 連続している。

このように構成されたスライダーは第5図に 示すようにジンバルばね7を介してベース8に取

本発明は以上詳述したようになり、スライダー本体の、記録媒体に対向するスライド面のエッジにはテーバ面あるいは丸味が形成されていて、たとえ上記スライダー本体が上記記録媒体に接触しても、それぞれ損傷されることが無く、また、空気の流れに乱れを生じないので、安定した浮上特性を発揮できる。

4. 図面の簡単な説明

第1 図は本発明の一実施例を示す底面図、第2 図は同側面図、第3 図は同葉面図、第4 図は別の実施例を示す端面図、第5 図は使用感様を示す側面図、第6、7 及び8 図は従来のスライダーの底面図、側面図、および端面図である。

1...スライダー本体

2. . . 清条 3. . スライド面

4...テーパ面 5...テーパ面

6...テーパ面 7...ジンパルばね

8 . . . ベース

9. . . 記録媒体

持開平4-40681(3)

